

# 啓光だより

発行元  
社会福祉法人啓光福祉会  
東京都多摩市和田一七七一  
〇四二 三七五 七三〇三

## 年頭のご挨拶

理事長 依田 明



謹んで新年のお慶びを申し上げます。昨年中は、多くの皆様からご支援、ご協力を賜り心より御礼申し上げます。

昨年は、啓光学園の施設面の安全対策に取り組みました。また、啓光学園北側において、東京都と多摩市による急傾斜地崩壊対策事業が年末から始まりました。

そうした中、中国武漢市から広がった新型コロナウイルスは、瞬間に全世界に拡散され多くの感染者や死亡者も発生し、日常生活から経済活動まで甚大な被害と恐怖を与えております。

日本でも福祉施設や病院に多くの被害者が発生しております。当法人も職員1名の陽性者が発生しましたが、速やかな隔離対策等を図り感染拡大を防ぐことができました。今後とも利用者の協力を得ながら感染防止に努めてまいりますので、ご理解ご協力をお願い申し上げます。

今年、東京オリンピック・パラリンピックの開催が予定されている年であり、一日も早い新型コロナウイルス感染症の収束を祈るばかりです。

## ◆ 評議員・理事交代 ◆

評議員並びに理事の退任があり、新たな役員が選出されました。

【新任】 ○評議員 堀田万利子氏 任期2年12月8日～3年6月  
○理事 松田二郎氏 任期2年12月16日～3年6月

【退任】 ○前評議員 長尾まみ子氏  
○前理事 高野範城氏

退任されたお二人には、長きにわたり啓光福祉会の発展にご尽力をいただき、誠にありがとうございました。今後とも、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

## ◆ 距離は離れど「心は」密に

～コロナ禍における年末の催し～



ますます不安高まる状況下、今年も無事穏やかな新年を迎えることができました。変わらぬ利用者の表情に力強さを感じ、喜びひとしおです。昨年12月、新型コロナウイルス感染防止対策を取りながら、各事業所で年末年



啓光学園のイルミネーション

始の楽しく安全な過ごし方について検討し、様々な企画が催されました。

通所の部の「啓光えがお」では、空間の確保を初めとする防止対策を続けながらクリスマス会や鍋パーティが催されました。利用者中心に企画立案を行い、短時間ながら充実したひとときとなりました。

「なかまの樹」では年始のお楽しみ企画として「ピニャータ（中にお菓子やおもちなどを入れたくす玉人形を壊す中南米のお祭り）」を皆さんで楽しみました。

入所の部では、年末帰宅の自粛に

より全員揃っての年越しとなりました。「啓光ホーム」ではホームごとにパーティを行うなど、アットホームな年末年始を過ごしました。また今年の「啓光学園」と「なかまの樹」のクリスマス会には歌手の木山裕策さんが来てくださり、マイクシールドを使用することで本物の歌声を間近で聴くことができました。同時にテーマを木山さんの代表曲「Home」に乗せてライブの様子を各事業所に同時配信し、児童、成人含めた法人全体が雰囲気共有しました。

新型コロナウイルスの感染禍でありながら、どの催しも「温かさ」がにじみ出る催しとなりました。



ご家族とのオンライン面会の様子



年始には書初めを行いました

# ◇今年8月オープン 完成予想図 ◇

【整備経過】  
今回の重度対応型グループホームの建設は、啓光えがお利用者の保護者有志の方々が組織する「将来を考

## 新設グループホームの進捗状況

「啓光ホーム「かりん」「くらさわ」」



える会」の皆さんの熱い働きかけによるものです。平成26年8月から、重度障がい者の終の棲家としてのグループホームを検討してこられ、近隣の施設見学等を行いながら、多摩市や啓光福祉社会に整備要望されてこられました。

【用地確保】  
啓光学園近隣の地主さんに、土地借用をお願いしたところ、知的障害者の施設整備について快諾を頂き、多摩市和田と日野市百草の二か所をお借りすることが出来ました。

【整備計画】  
各用地に2棟建設し、計4棟6ユニット、34名の居室を整備します。建設は、昨年11月から始まり現在棟上げまで進んでおり、6月末に完成する予定です。

\*エレベーター、スプリンクラーを設置します。  
\*入浴は、リフトキャリーにて、座ったまま浴槽に入れます。  
\*車椅子使用にも対応した、ゆったり居室、居間、廊下を整備します。

【資金計画】  
建設整備費は、全体で3億7千万円程を見込んでおり、東京都、多摩市からの財政支援も受けながら進めて参ります。

【利用者】  
利用申込者は、啓光えがお利用者を中心に男性は定員17名を超えました。女性は、16名の申込を頂いてい



啓光ホームくらさわ 棟上工事状況

【職員確保】  
重度対応型のグループホームは、職員体制の充実が求められており、人材の確保が課題となっています。そうした中、外国人の採用も含め対応を進めており、現在14名の外国人採用を決定し、啓光学園と啓光えがおで逐次業務の研究に励んでいます。

引き続き、皆様のご理解、ご支援を宜しくお願い申し上げます。

	啓光ホームかりん (女性用)		啓光ホームくらさわ (男性用)	
所在地	多摩市和田 1175 番 1		日野市百草 698 番 1	
敷地面積	823.11 m <sup>2</sup>		926.52 m <sup>2</sup>	
建物	A棟	B棟	C棟	D棟
延床面積	381.50 m <sup>2</sup>	264.06 m <sup>2</sup>	320.70 m <sup>2</sup>	228.15 m <sup>2</sup>
定員	2 ユニット	1 ユニット	2 ユニット	1 ユニット
	10 名	7 名	10 名	7 名

## 権利擁護委員会報告

毎年11月に利用者ご家族の代表者を含めて行ってきた権利擁護委員会（虐待防止委員会）全体会議の開催は見送ることとなりました。保護者の皆様には、活動内容を今後書面にまとめて報告する予定です。

また、利用者の皆さんへの報告をわかりやすくするために試行錯誤を重ねていたところ、そもそも「虐待とはなにか」という基本的な知識を得ていただく機会を持たなかったことに気づき、反省させられました。

そこで、利用者さんと職員が虐待についてともに学べる学習会を開催することになりました。11月に啓光えがお、12月には啓光ホームで行い、「虐待とはどんなことか」、「虐待されたらどうすればよいか」、そして何よりも「利用者の皆さん一人ひとりが虐待されてはいけない大切な存在なのだ」という事を学びました。皆さん真剣に話を聞いていて、あらためて権利擁護委員会の活動について考える機会となりました。啓光学園となかまの樹でも今後開催予定です。



啓光えがおでの学習会の様子

# △各事業所トピックス▽

## 啓光学園／児童

今年度の事業計画の一環で、児童の育ちを支援する体制の充実化を図っています。内容としては、家庭的な環境づくりと児童への療育的な支援として、児童一人ひとりの特性に合わせた、食事マナーの習得、宿題や翌日の持ち物等学校準備のサポート、洗体方法の習得等入浴の支援などを集中的に実施する児童担当職員を毎日明確化し、継続的で一貫性のある支援を提供しています。今はまだ模索中の部分も多いですが、児童一人ひとりと向き合う時間が増えたことで、よりよい効果が得られています。



家庭学習の様子

12月はもう一つ、皆さんの楽しみであるクリスマス会がありました。入所児童の利用者さんたちも早くからプレゼントを楽しみにしていて、当日も嬉しそうにされていました。

## 啓光学園／成人

新型コロナウイルス感染症拡大の影響によ

また、利用者の皆さんに様々な情報がいち早く伝わるよう、テレビモニターを使った掲示板を導入しました。掲示物以外でも、今まで撮りためていた写真のスライドショーを常時流しており、利用者さんと職員が一緒に思い出を振り返る機会にもなっています。

健康管理や食事にも一層気を付けるようにしています。月に1回体重測定を実施しての体重の把握や、一人ひとりの食事摂取状況の把握は以前と同様ですが、課題等が見つかった場合は、月1で開催される「健康栄養会議」に取り上げ対応の検討を



2・3階フロアの食堂近くに設置された掲示板に皆さん興味津々

り、頻繁に外出する事が難しくなりました。そのため外出以外で利用者の皆さんに余暇を楽しんでいただけるよう、カラオケ大会を開催したり、お菓子の提供などしています。

## 啓光学園／生活介護

施し、早期支援に努めています。

「私たちはこんな事がしたい！」利用者の方々に対してどんな活動がしたいか聞き取り調査を行い、そのニーズを反映させた新プログラムを実施しています。

中でも「外出・買い物」「のんびり過ごす時間」の要望が多く、感染予防対策をした上で積極的に近隣散歩や買い物に行かれるように日中の時間を活用しています。

「のんびり過ごす時間」では、毎週水曜日に、温泉風呂を企画、普段と一味違った空間でゆっくりと過ごせる時間の提供を行っており、利用者の方々からも大好評です。

また、高齢化に向けた機能維持を目的としてストレッチやマッサージ等の身体ケアについても理学療法士と連携を図りながらプログラム化を目指していきます。



近隣の大栗川までお散歩

## なかまの樹

なかまの樹では、12月25日はクリスマスイベントを開催しました。午前中はクリスマスケーキのブッシュドノエルを飾りつけしました。

昼食についても、クリスマスに因んだメニューとしました。普段よりボリュームもたっぷり、美味しく食べやすかったようで沢山召し上がっていました。

午後は一面でも取り上げました、木山裕策さんによるクリスマスライブに参加しました。ライブでは、なじみのない楽器や大きいスピーカーから鳴る音に皆さん興味津々な様子でした。また、ハンドベルでのセッションを行うために、前日の音楽活動でリハーサルも行い、当日は大成



木山裕策さんのクリスマスライブの様子

功を収めました。プロの演奏を目の前で聞くことはなかなか出来ることではなく、今回は皆さんにとって、とても貴重な経験になったと思います。

# 啓光えがお



自分たちで相談し作りあげたイベントなら楽しさも倍増！

「歳時記」と呼んでいる季節ごとの催し、鍋会、クリスマス会などのイベントに企画の段階から利用者の皆さんが関わる機会を増やしています。何が始まるのかわからないというイベントに対する不安が減ったのか、リラクセスした表情で参加している方も増えました。準備をしながらワクワク感を味わっている方も少なくないようです。自分の提案したことが実現するという面白さが、利用者の皆さんの発信力を高めているようにも思えます。職員も、楽しい時間を利用者と共有できるように努めています。

# 啓光ホーム

でコロナの不安やストレスを共有したりしました。利用者の皆さんは日々本当に頑張っている。同時に病院等地域の方々のご協力などいただくことで、グループホームでの安心安全な生活は成り立っています。利用者さんや地域それぞれに感謝の気持ちを忘れずに「ウイルスに負けない」支援を今後も行っていこうと思います。



マスクなど感染予防をしながらのイベント参加

今年予定していたイベントは新型コロナウイルス感染症拡大の影響により全て中止となりました。またご自身で外出できる利用者さんにつきましても、やむを得ず行動範囲の制限もお願いしなければならぬ日々が続いております。感染予防対策を講じながら、グループホーム単位でのクリスマス会を実施したり、また地域のスポーツ体験教室へ参加したり、利用者会議

## おしごと紹介（事務職員の仕事）

「事務の仕事」と一言でいっても、その内容は多岐にわたります。今回はその中でも、利用者さんに直接かわりのある請求業務について、少しだけ紹介させていただきます。

毎月初になると、当施設での利用者さんのサービス利用日数・食事回数等を確認・計算し、請求書を作成しています。利用料のうち、食費・光熱費（光熱費についてはグループホーム、施設入所、短期利用、日中一時支援が対象）等は利用者さんにご負担頂き、その他の費用には国保連に請求する給付費をあてています。請求業務は目立つ仕事ではありませんが、サービス提供継続のためには必要不可欠な仕事です。利用者の皆さんが安心してサービスをご利用頂けるよう、毎月の請求業務にあたっています。



## <啓光福祉会 事業所一覧>

- 啓光学園（法人本部）／知的障害者（児）入所施設  
東京都多摩市和田 1717 Tel 042-375-7303
- なかまの樹／重症心身障害者通所施設  
東京都多摩市和田 1730-3 Tel 042-356-4006
- 啓光えがお／知的障害者通所施設  
東京都多摩市南野 3-15-1 二幸産業・NSP 健幸福祉プラザ 1.2F Tel 042-376-5044
- 啓光ホーム／知的障害者グループホーム
  - ①啓光ホーム石村 東京都多摩市ノ宮 4-27-12 Tel 042-339-7513
  - ②啓光ホームおおぐり 東京都多摩市ノ宮 4-39-15 Tel 042-319-3380
  - ③啓光ホームいずみ 東京都多摩市和田 1721-7 Tel 042-401-9331
- 啓光相談支援センター／特定相談支援事業所  
東京都多摩市南野 3-15-1 二幸産業・NSP 健幸福祉プラザ 1F Tel 042-376-5044

### 編集後記

コロナ禍において「例年通り」という言葉がすっかり消え、事あるごとに立ち止まり、何か良い手はないものかと悩み考える日々になりました。福祉の仕事は、「困っている人」に、その人に合った支援方法を創意工夫して解決に結びつけること。福祉に携わる者として「創造性」は備えるべき大切な資質なのです。反対に「前例踏襲」は知恵を絞ることのない「模倣」であり「創造」は対極の意味を持ちます。逆境の今やるべきことは「創造」して前進すること。腕の見せどころです。（広報編集委員会）